

次世代燃料安定供給のためのトランジション促進事業

資源エネルギー庁資源・燃料部
石油精製備蓄課

令和5年度予算額

66 億円 (75 億円)

事業の内容

事業目的

カーボンニュートラルの実現に向け、2030年を転換期としてエネルギー源を化石燃料である石油から非化石燃料に急速にシフトさせる必要があります。本事業では、燃料政策の転換によって次世代燃料の安定供給体制の構築を目指す中で、化石燃料供給から次世代燃料への健全なトランジションを促すために、石油精製事業者の事業転換（非燃料製造事業への転換による化石燃料供給の縮小と次世代燃料供給のための設備投資等）を推進するとともに、化石燃料供給施設のレジリエンス（自然災害等への対応）を着実にすることを目的とします。

事業概要

足下の国民生活・経済活動に不可欠なエネルギー源である化石燃料の安定供給環境を確保しつつ、カーボンニュートラル社会において国民生活・経済活動を支えていくこととなる次世代燃料の安定供給に向けた技術開発や環境整備等の健全なトランジションを官民連携で推進します。

（1）次世代燃料の安定供給促進事業

バイオ燃料・合成燃料等の次世代燃料（非化石）の製造・安定供給を確保していくための環境整備等を支援します。

（2）化石燃料供給事業再構築支援事業

化石燃料等製造から非燃料等製造への転換及び化石燃料等製造プロセスの脱炭素化等への転換を支援します。

（3）化石燃料等供給体制の強靱化支援事業

地域への化石燃料安定供給上重要な油槽所等における大雨・高潮対策の支援をします。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

（1）次世代燃料の安定供給促進事業

補助（定額）

補助（1/3、2/3）



（2）化石燃料供給事業再構築支援事業

補助（定額）

補助（1/3）



（3）化石燃料等供給体制の強靱化支援事業

補助（定額）

補助（2/3）



成果目標

カーボンニュートラルの実現に向け、次世代燃料の安定供給促進等に必要な設備投資や技術実証の支援、研究開発の推進を通じて化石燃料から次世代燃料供給へのトランジションを促します。

また、化石燃料等製造プロセスにおける脱炭素化等の支援や非燃料製造への事業転換支援、油槽所等における大雨等への強靱化対策を通じて、化石燃料供給の低減を促すと同時に足下の石油の安定供給を図ります。